

小豆島町公告第 2 1 号に関する質疑回答書

	【質問内容】	【回答】
1	要求性能・使用が担保できる木造コンテナでの提案が可能ですか。	不可とします。 本事業は、災害発生時等における機動的な移設・移動の確保や、耐候性及び耐用年数を重要視します。そのため、要求水準書「3.1 基本要件」に記載のとおり、鋼材を使用した国産コンテナ（新品）とし、品質を担保する製造証明書等の提出を必要としています。
2	建築確認申請を受けることが要求条件として必須ですか。	本事業の施工箇所は都市計画区域外であり、建築確認・検査の対象となる建築物に該当しないと認識しているため、手続きとして「建築工事届」の提出等を想定しています。 ただし、要求水準書「1.2 遵守すべき関連法規等」及び「2.1 設計業務」に基づき、受注者において所管行政庁（香川県等）や関係機関との事前協議を行い、必要な法的手続きを確実に実施してください。
3	要求水準書に「牽引移動が可能な構造」との記載がありますが、トレーラーハウスによる提案は可能ですか。	不可とします。 要求水準書「3.1 基本要件」に記載の「牽引」等の表現は、災害時や移設時等において搬出・移動させる際の手法（台車や専用牽引具等の活用を含む移動能力）を示したものであり、タイヤ・車輪が付いたトレーラーハウスを意味するものではありません。 本事業では、建築基礎等に定着・連結して設置する国産コンテナ（新品）による提案としてください。
4	省エネ基準適合レベルや遮音性能要求値の具体的な要求レベルが示されていませんが、これらはどのように評価されますか。	建築物省エネ法等の現行法令に基づく一般的な基準（断熱等性能等級4など）を標準とし、評価項目「設計・配置計画」において提案内容を評価します。なお、高断熱化や高効率設備の導入、利用環境を高める遮音対策など、標準を超える性能向上に関する優れた提案があった場合は、評価の対象とする予定です。
5	ユニット内の家具、家電製品、什器備品類は、本事業（提案範囲・費用）に含まれますか。	家具、家電、什器備品類の一式については、町が別途調達することを予定しております。 したがって、本事業の提案価格にこれらの調達費用を含める必要はありません。 ただし、内装計画（レイアウトやコンセント・配線位置等）の策定にあたっては、将来的な家具・家電等の配置や使用に支障がないよう配慮した設計・提案としてください。

小豆島町公告第21号に関する質疑回答書

	【質問内容】	【回答】
6	現地でのコンテナ据え付け後、コンテナの仕上げ工事を行うための作業スペースについて、どのように考えていますか。	本事業における本格的な現地工事については、閑散期となる12月以降の着手を想定しております。 現場作業スペースの確保にあたり、安全確保や施工効率化の観点から必要となる場合は、12月以降におけるキャンプ場の営業停止等を伴う施工計画を提案することも可能です。 事業者においては、現地状況を踏まえ、確実かつ安全な施工計画を立案してください。ただし、営業への影響や工期を極力抑えるための工夫（工場製作による現地作業の最小化など）を期待します。
7	令和8年9月初旬の本契約締結後、実施設計や確認申請等を行ってから施工となると、令和9年3月21日の履行期限までの引き渡しが困難と思われますが、工期についてどのように考えていますか。	本事業は、国庫補助金を活用しており、履行期間内（令和9年3月21日まで）での完了を前提としています。なお、手続き等については「建築確認申請」ではなく「建築工事届」等の提出を想定しており、審査待ち等の期間を削減できる見込みです。 また、「工場での製作」と「現地での基礎工事等」を並行して進めることで、工期の短縮が可能と考えていますので、適切な工程マネジメントのもとで提案・履行を検討してください。
8	要求水準書にある「しかるべき保証期間（またはそれ以上の独自保証）」について、具体的な希望期間や範囲を教えてください。	建物は非住宅のため一般的な2年保証、機器についてはメーカー標準保証等を標準と想定しています。 その上で、独自の長期保証や、手厚いメンテナンス体制などの優れた技術提案があった場合は、評価の対象とする予定ですので、効果的と考える保証・アフター体制を提案ください。